

特別展

明治維新百五十年記念

# 吉田松陰の

# 尊皇攘夷思想

— 明治維新への序奏 —

平成30年

4月21日(土)

平成31年

4月8日(月)



松陰神社宝物殿

## 至誠館

〒758-0011 山口県萩市椿東1537  
TEL 0838-24-1027 FAX 0838-24-1028

◎開館時間／午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで) ◎休館日／年中無休

◎入館料／一般500円(400円) 中・高生250円(200円) 小学生100円(80円) ※( )内は20人以上の団体料金

特別展

明治維新150年記念

# 吉田松陰の尊皇攘夷思想

## — 明治維新への序奏 —

平成30年4月21日(土) ~ 平成31年4月8日(月)

平成三十年は明治維新百五十年を迎えます。

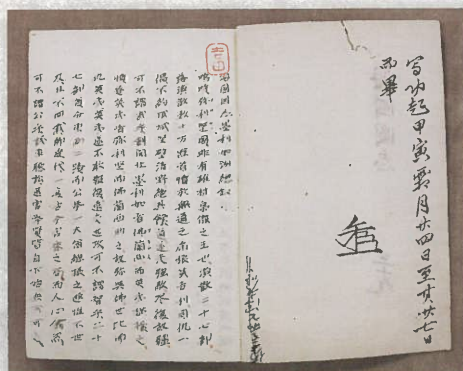
吉田松陰は、幼少のころ父杉百合之助から尊皇の心を教わりました。松陰は尊皇を思想の根本に据え、日本の植民地化を防ぐために行動しました。松陰の尊皇攘夷思想は、兵学の研究や諸国遊歴、読書によって深められていきました。そして、松下村塾生たちへ引き継がれ、松陰が歿して九年後に、明治維新が成し遂げられました。

本展覧会では、松陰が遺した自身の尊皇攘夷思想に関する著述や、思索を深めるために読んだ書物などを通して、激動の幕末を生きた松陰の尊皇攘夷思想を紹介します。



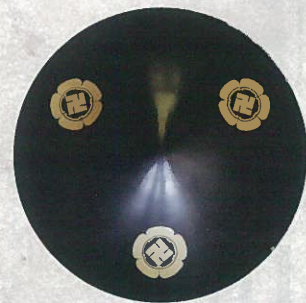
己未稿「正月二十四日」

「吾の尊攘死生之れを以てす」の書き出して、松陰の尊皇攘夷活動への覚悟が述べられている。



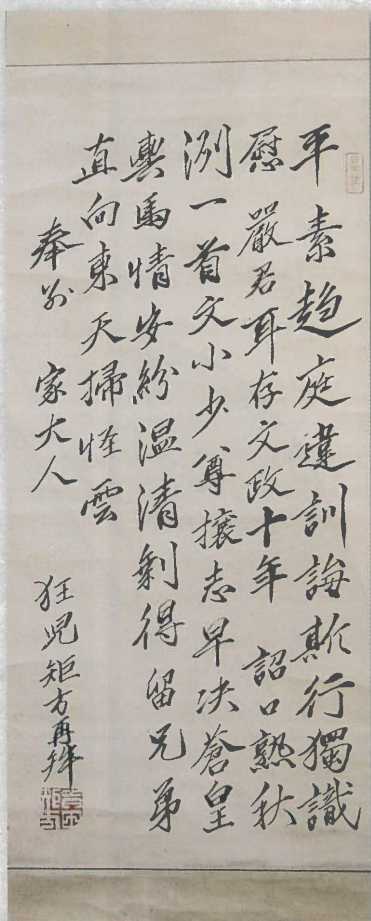
海国図志 墨利加州ノ部

松陰が写したアメリカに関する書物。著者は清末の兵学者魏源。松陰自署の花押がある。



陣笠

松陰が使用していた陣笠。吉田家の家紋が施されている。



奉別家大人詩

松陰が安政の大獄で江戸に送られる際、父杉百合之助に別れを告げた漢詩。父の教を胸に、尊皇攘夷を実行する決意が詠まれている。

### 松陰神社宝物殿 至誠館

〒758-0011 山口県萩市椿東1537  
TEL 0838-24-1027 FAX 0838-24-1028  
e-mail hiji-chomoku@haginet.ne.jp



#### 交通案内

山口宇部空港 (東京から約85分)	宇部市営バス	新山口駅	防長バス・JRバス	萩バスセンター	防長バス	松陰神社前	(東京から約80分)
	約35分	徒歩	JR宇部線	約10分	約15分	約15分	
	約10分	約10分	約40分	約10分	約10分	約10分	
			乗合タクシー(要予約)				
			約90分				
				東萩駅	タクシー	松陰神社前	
				約5分	約5分		
				約10分	約55分		
				乗合タクシー(要予約)	約90分		

自家用車でお越しの方には、境内と神社前の交通公園に無料駐車場があります。